



第17回つやまロボットコンテスト

12月16日 地域交流センター(アルネ津山4階)



「魅せろ!!江戸一目図屏風 平成の絵師ロボコン」と題し、41チームが参加。どのチームもロボットに工夫を凝らして相手より早く屏風を完成させようとしていました。

第15回津山こどもオンステージ

12月23日 津山文化センター



子どもを対象に津山市内外で活動する8つの団体の発表会。歌やダンス、太鼓、舞踊など日頃の練習の成果を披露し、可愛い演技に会場からは温かい拍手が送られました。

津山市消防出初式

1月13日 吉井川河川敷



消防団員や自主防犯・防災組織など総員約1,100人が参加しました。参加者は規律正しい行進や一斉放水を行い、防災・防火に努める決意を新たにしました。

勝北新春ミニマラソン大会

1月20日 勝北総合スポーツ公園



小学生から一般まで約130人が2キロと3キロのコースで健脚を競いました。親子で参加するファミリーの部では、励まし合いながら、笑顔で走る姿が印象的でした。

新春津山川柳大会

1月20日 津山市総合福祉会館



県内外から参加した132人の俳人が「美作」など8つの題に沿って投句しました。披講では、生活の一部を切り取った微笑ましい句に、温かい笑いが起きていました。



新春を爽やかに走って祝う

第41回津山市元旦走り初め大会

1月1日、新年の澄み切った青空の下、294人の市民ランナーが、グリーンヒルズ津山リージョンセンターを発着点に約3キロのコースを軽快に走り抜けました。ゴール付近では「がんばって〜」などの声援が聞こえる、とても和やかな大会となりました。

京都から帰省した家族と3世代で参加した石本知也さん(横山)は「家族そろって走れることが、とてもうれしい。来年もまた、元気に孫と走りたい」と話してくれました。



木の良さを知ってほしい

津山市弓道場木工細工チャレンジ

1月6日、津山市弓道場で岡山県産木材の持つ温かみや優しさを再認識してもらおうと、小学生を対象に木工細工教室が行われました。

参加者は、さまざまな形をした木材に色を付けて、干支のへびや魚、サイコロなどのキーホルダーを作りました。

中には、正月らしく絵馬に見立てて「勉強ができますように」や「武道がもっと上手になりたい」など、願いごとや今年の抱負を書く子どもたちもいました。

新成人、気持ち新たに大人の仲間入り

第63回津山市成人を祝う会



1月13日、津山総合体育館で津山市成人を祝う会が行われました。

今年、津山市で新成人になったのは1,064人(男500人・女564人)。会場前では、参加者が旧友との再会に心弾ませているようで、笑顔が飛び交っていました。

式典では、厳粛な雰囲気の中、新成人を代表して豊島彩さん(西中)が「これからも感謝の気持ちを忘れず、自覚と責任を持ってそれぞれ大人の道を歩んでいきます」と謝辞を述べ、参加者は大人になった決意を新たにしているようでした。

年末に響く火の用心の声

田中町内会年末夜警・子ども夜回り

12月29日、田中町内会子ども会(小田中)の小学生約40人が年末夜警の夜回りを行いました。

年末の冷え込む空の下、参加した子どもたちは2班に分かれて「火の用心、マッチ一本火事の元」と拍子木を打ちながら、家々に防火・防犯を呼び掛けました。

参加した、中島桃花さん・吉田世名さん(北小6年生)は「家族みんなで気を付けて、火事の無い、楽しいお正月を迎えてほしい」と笑顔で答えてくれました。



蘇る幻の織物「倭文織」

美作国の織と色彩

12月15~24日、城東むかし町家(旧梶村家住宅・東新町)で、美作地方に古くから伝わる織物や現代染物作家の作品展が開催されました。

江戸時代の商人屋敷の面影を残す趣のある会場では、作州紆(あま)やさを織の着物・マフラーなどが展示され、訪れた人の目を楽しませていました。

また、倭文地区に伝わる幻の織物・倭文織のワークショップも行われ、参加者は、倭文織の復元に取り組む地元住民の指導を受けながら、質素ながらも独特の味わいのある倭文織作りを体験しました。